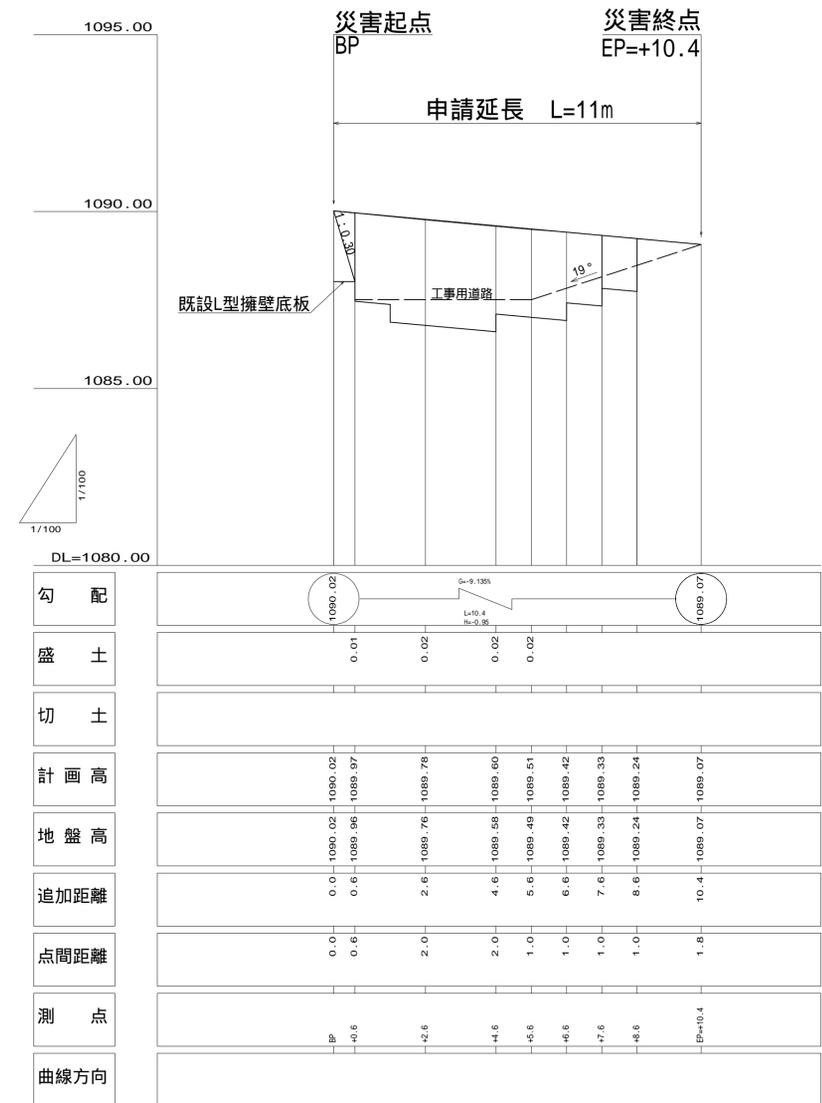
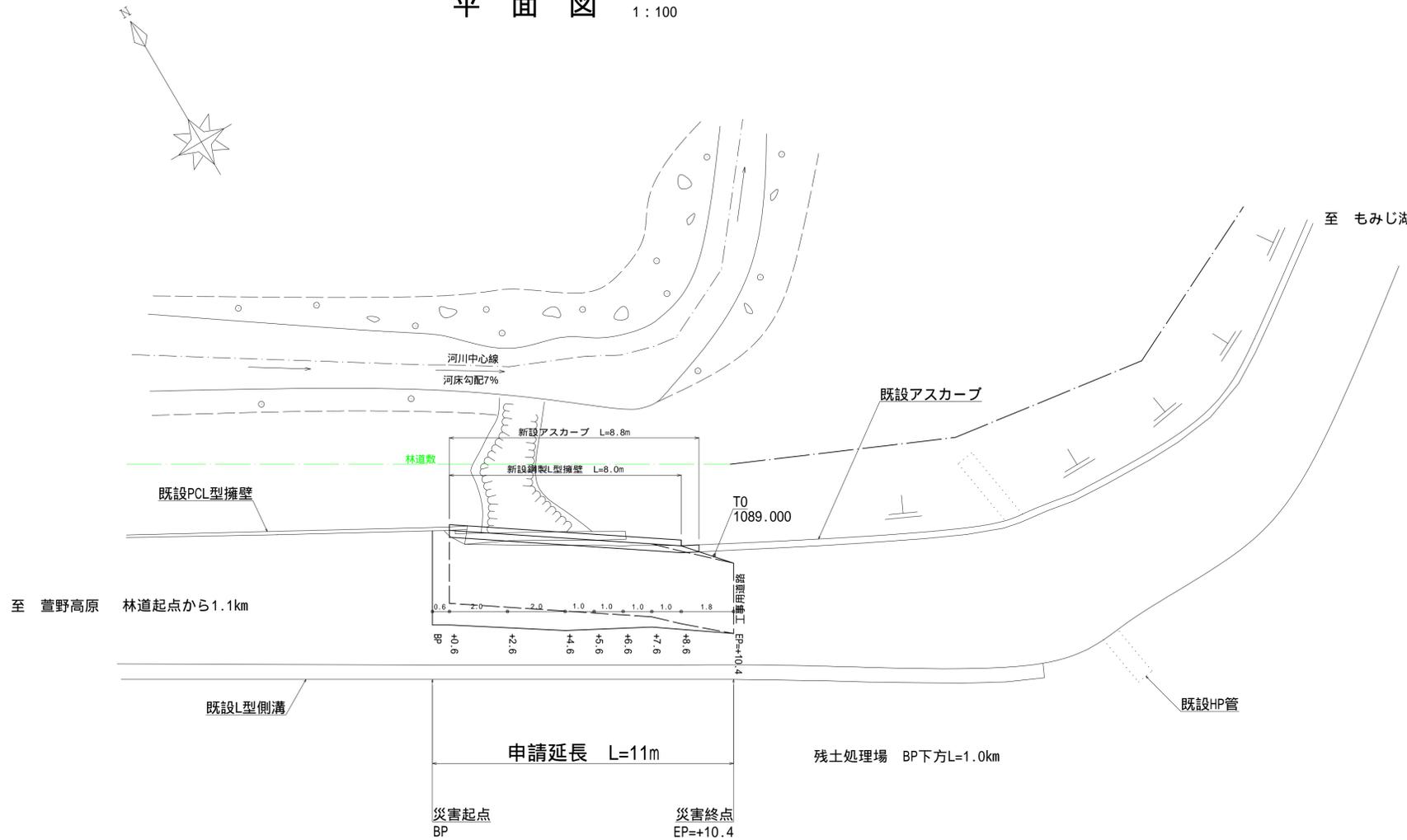


縦断面図

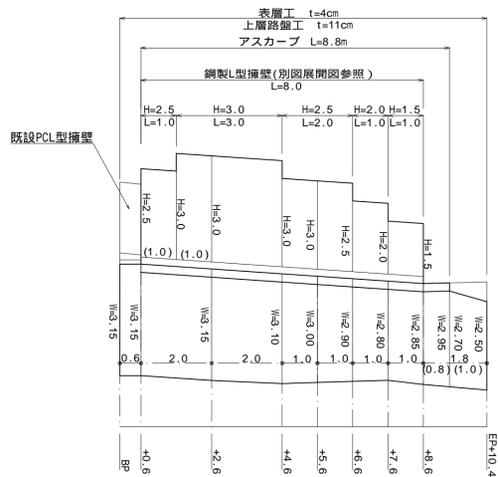
1:100



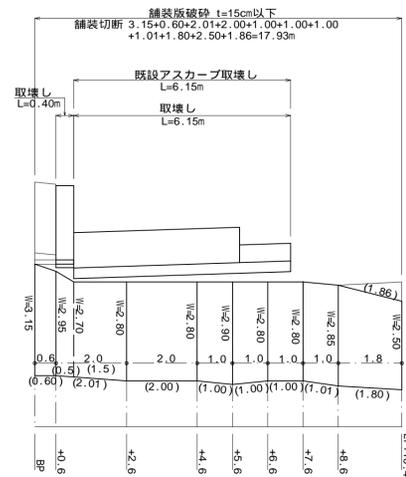
平面図 1:100



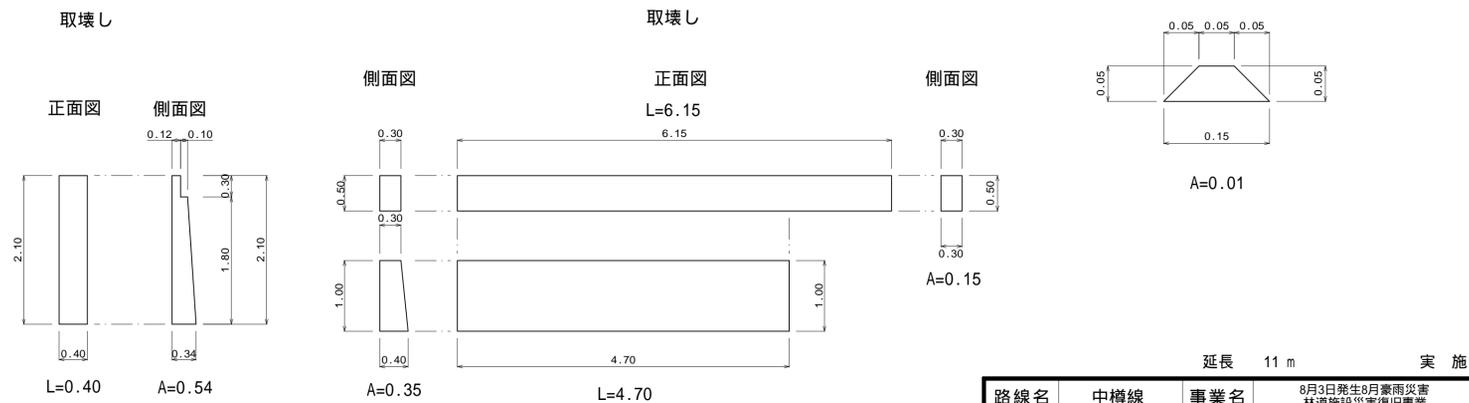
展開図 1:100



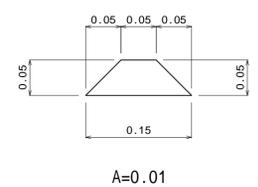
取壊し展開図 1:100



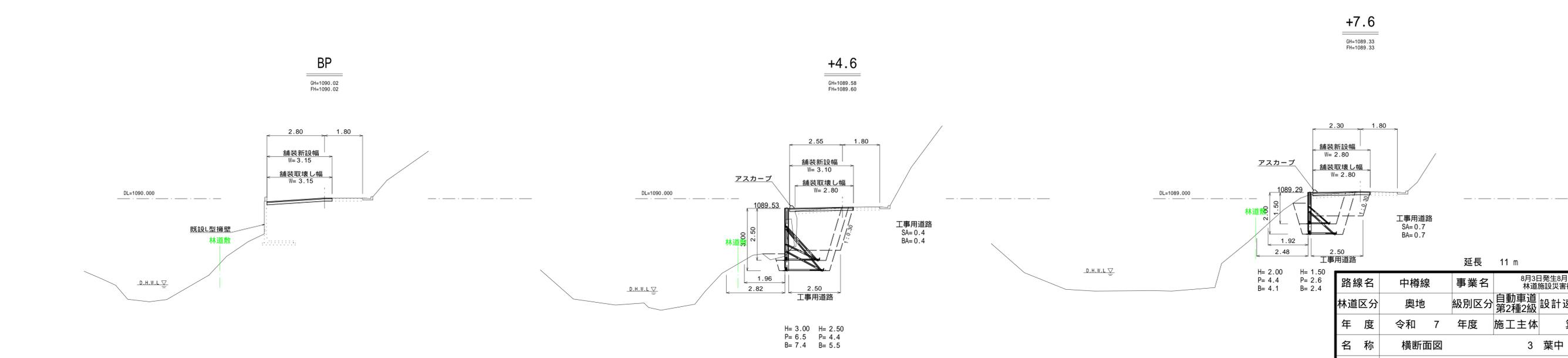
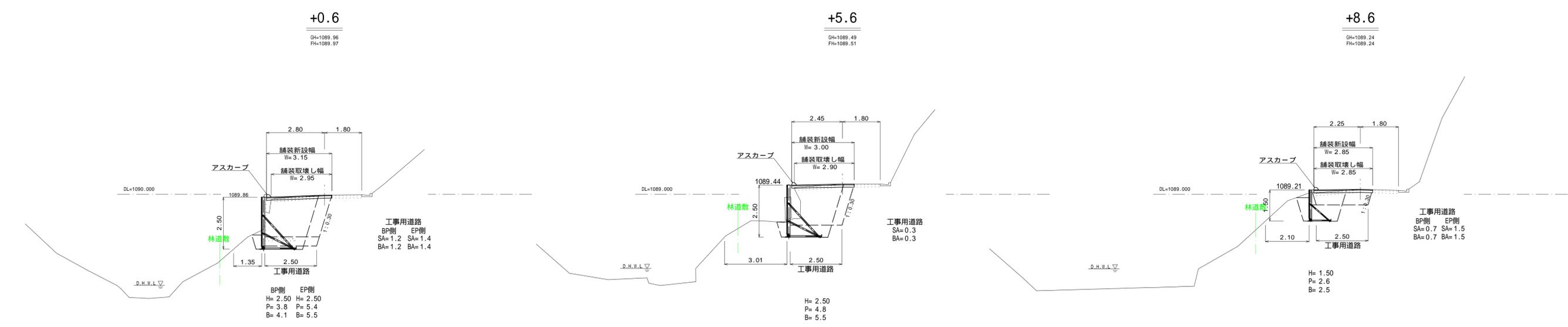
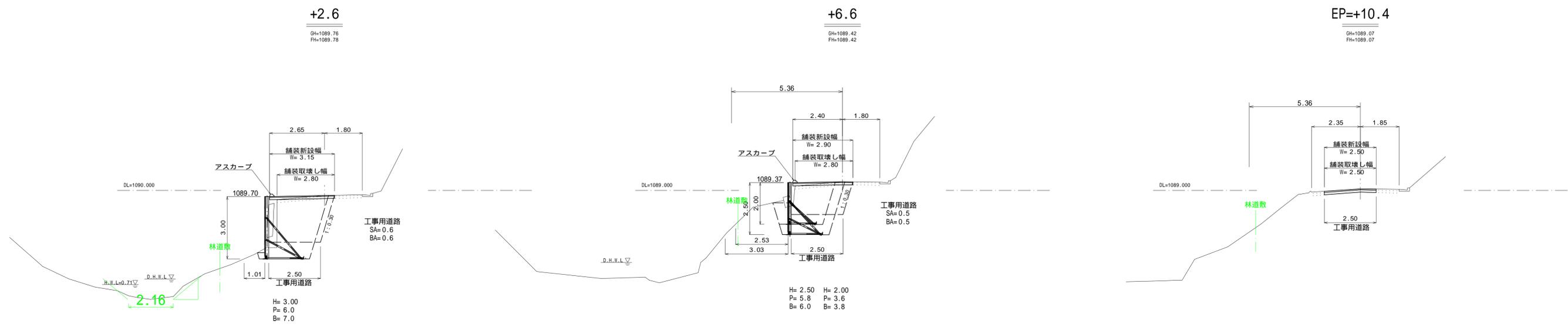
取壊し詳細図 1:50



既設アスカープ詳細図 1:5



延長 11 m 実施				
路線名	中樽線	事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度 20 km
年度	令和 7 年度	施工主体	箕輪町	
名称	総合図 3 葉中 1 番			
施工地	長野県 上伊那郡 箕輪町 大字 福与			
縮尺	図示	審査者	設計者	



延長 11 m 実施

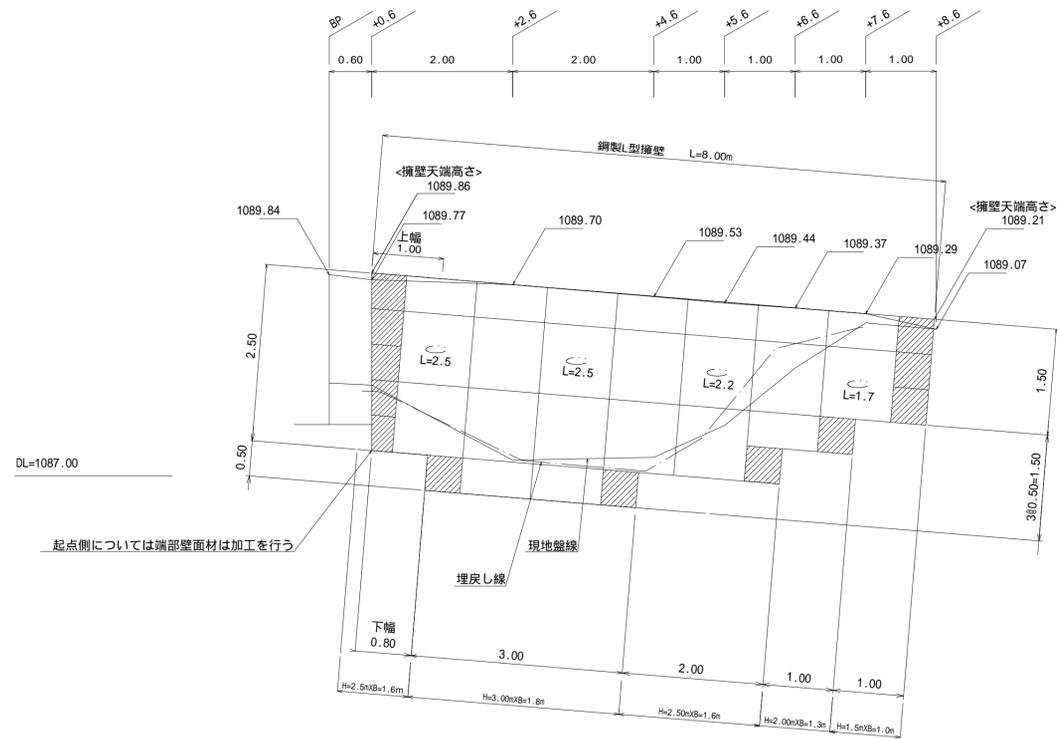
路線名	中樽線	事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業		
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度	20 km
年度	令和 7 年度	施工主体	箕輪町		
名称	横断面図		3 葉中 2 番		
施工地	長野県 上伊那郡 箕輪町 大字 福与				
縮尺	1/100	審査者		設計者	

鋼製L型擁壁工展開図

S=1:50

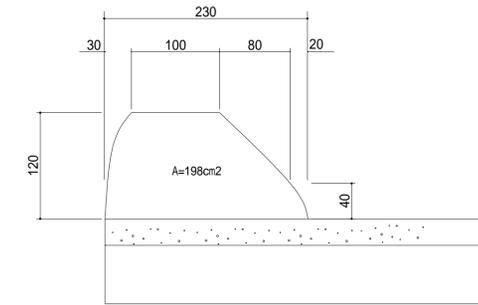
凡例

-  壁面材(1.0m)
-  壁面材(0.5m)
-  端部壁面材(0.5m)
-  排水材(10x300)

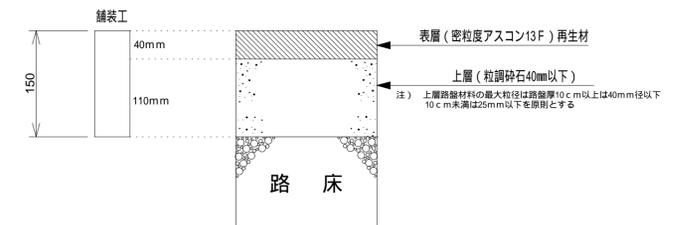


アスカーブ

S=1:40

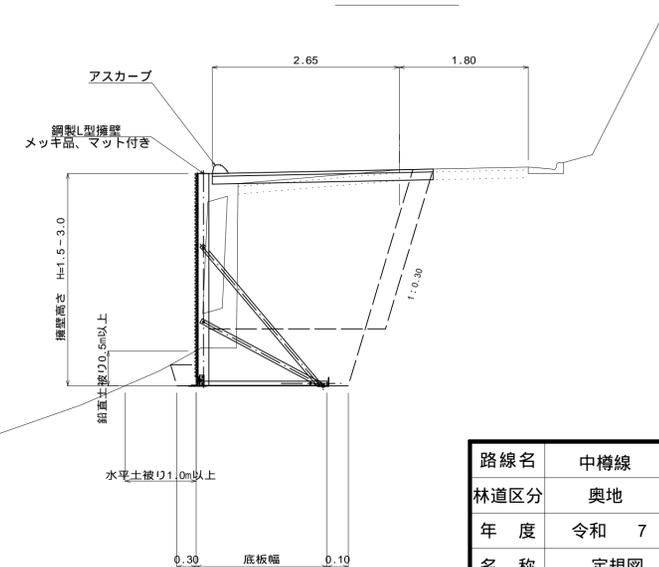


舗装工柱状図



標準断面図

+2.6



特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。 ・背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような排水対策を施すこと。 ・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質数値や支持力を満足するが確認すること。 ・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。 	

設計条件	
盛土材の内部摩擦角	= 30°
盛土材の単位体積重量	= 18.0kN/m³
載荷重(活荷重)	w = 10.0kN/m²

最大地盤反力度		
測点 +4.6	常時	q _{max} = 101kN/m² < q _a = 300kN/m²

施工管理基準値	
項目(頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材500mに1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS A 1210のA,B法による最大乾燥密度の95%以上、C,D,E法で90%以上とする。 ・岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・所定の壁面勾配 ± 0.03H(H:壁高)

延長 11 m 実施

路線名	中樽線	事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業		
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度	20 km
年度	令和 7 年度	施工主体	箕輪町		
名称	定規図		3 葉中 3 番		
施工地	長野県 上伊那郡 箕輪町 大字 福与				
縮尺	図示	審査者	設計者		